

# 医療法人仁寿会 石川病院

## リハビリテーション科

### 指導担当医（役職）

藤井 康光（部長）

### 実習概要

#### 実習コース

2週間コース

#### 概要

リハビリテーション科の主治医団の一員として診療に参加して頂きます。主治医団とともに数人の患者を受け持ち、回診・カンファレンス・身体診察を行います。ボトックスによる痙性治療、嚥下内視鏡・嚥下造影検査、装具診察などリハビリテーション科特有の手技や検査を見学することが出来ます。具体的な実習内容については個人の希望をお聞きし設定します。

#### 実習スケジュール

1. 主治医団としての実習：毎朝主治医へ同行し病棟回診、診察、入院受けなどを見学し病状を把握
2. 病棟リハビリテーションカンファレンス、入院患者カンファレンス（木曜14時）
3. 装具診（火曜・木曜）
4. 嚥下内視鏡・嚥下造影検査・嚥下カンファレンス（木曜）
5. ボトックス外来（火曜・木曜）
6. リハビリカンファレンス（月曜午後）

## 学生へのメッセージ

リハビリテーション科というと学生の皆さんにはあまり馴染みがない方が多いと思います。

リハビリテーション科は医師だけではなく、看護師、セラピスト、ソーシャルワーカー、管理栄養士など多職種と連携して診療を行います。コミュニケーションが非常に重要で、チーム医療のリーダーとして治療方針を統一し、患者にわかりやすく説明する能力が求められます。

石川病院は117床の回復期病床(リハビリテーション治療を行う病棟)を有しており、リハビリテーション関連職種(PT.OT.ST)は100名近く在籍しています。兵庫県立はりま総合医療センターと連携し、交通事故・脳卒中・多発骨折・四肢切断・脊髄損傷など幅広い患者を受け入れることで豊富な症例を経験することが出来ます。

リハビリテーション科医は後期研修医から主治医として働くことが求められます。そのため、リハビリテーション医学のみならず、一般内科において広く知識を有する必要があります。手技に関してはボトックス治療や嚥下内視鏡検査など、独自の手技・検査があります。装具療法においては多岐に渡る選択肢の中から患者毎に最も適した装具を選択していくことが求められます。

リハビリテーション科医として大切な資質は「メディカルスタッフと円滑なコミュニケーションを取れること」、「配慮を持った行動をとれること」です。手術や処置が少ない分、多職種・患者・患者家族との対話に時間を割きます。急性期治療が終了した後にどのようにして生活の場に戻っていくのか知ることが出来る数少ない機会ですので是非実習に来てみてください。

ワークライフバランスも整っている診療科ですので、実習で気軽に質問してみてください。